

心が強い人、弱い人、心が折れない人、折れる人との決定的な違いとは

まとめ

- 結局、心が強い人、弱い人の差とは何なのか？
- 自分の弱さを真正面から認める素直さと強さだと思う
- 自分の弱さを認めないことが自分への逃げであり、これこそが弱さの本質
- 自分の弱さを素直に認めることは、決して弱いことではない、むしろ強い人こそが出来ることだ
- 自分はそもそも完璧ではない、自分は弱い、そんな柔軟性が持てれば人は驚くスピードで成長するだろう
- だから時には人に甘える事も必要
- 自分を素直にさらけ出したら、きっと良いアドバイスを貰えるだろう
- アドバイスをしてくれた人も必ず同じ道を通っている
- なんでも完璧に出来て、何でも上手くいってしまう人生は果たして本当に楽しいだろうか？
- 人は完璧じゃない、弱い、だからこそ無限の可能性を秘めていて人生は面白い
- ミスや失敗、弱い、出来ないことは恥じゃない
- 誰もが最初は出来なくて当たり前なんだよ
- 詰まらないプライドは捨ててしまえ、出来ない自分を恥じるより、素直にどうやったら出来るか聞いてしまったほうが早い
- 他人と絶対に比べるな、他人と比べること自体が無意味なんだ。比べるなら昨日の自分と比べる
- 大事なことは、まずは形にすること。理想ばかりを追い求めて、いつまで経っても形にできないのでは時間がいくらあっても足りない
- 頭の中だけで考えるな、まずは形にしてみるんだ、それから考える
- やってもいないのに文句を言うな、まずはやってみてから物を言え

切り替えられる or ズルズル引きずる

- 折れない人
 - 自分のミスや弱さを深く認め、すぐに対処できる人
 - その日のうちに気持ちを切り替えて、行動に移している人
- 折れる人
 - 今悩んでも仕方ないことに囚われて、なかなか前に進むことが出来ない
 - 生産的ではない態度や行動をとってしまいがち
 - これら行動を取れば取るほど泥沼にはまり自己嫌悪に陥っていく

良いアドバイスをすぐに受け入れる or 他人の意見は受け入れない

- 折れない人
 - 自分に変なプライドがないので、誤っていた自分を認め反省し、新しい意見を受け入れることが出来る
- 折れる人
 - プライドが邪魔をして自分が間違っていると素直に受け入れることが出来ない
 - その意見を受け入れることは自分の負けを認めること、自分が愚かであることを認めてしまうということの意味し変な意地を張ってしまう

困ったときは誰かに頼る or 一人でなんとかしようとする

- 折れない人
 - 自分でできることは自分です。自立した大人として当たり前のことだけれど、どうしても自分だけで出来ない時は遠慮なく誰かに頼る
 - 自分の弱さや限界も知っているので一人で頑張り過ぎない
 - また助けられた恩は別の形で必ず返す
- 折れる人
 - 人に頼ることは自分の弱さを見せることだと勘違いして出来なくても無視をして全部抱え込んでしまう
 - やればやるほど空回りして、問題をよりややこしく大きくしてしまう

完璧を求めない or 理想を追求しすぎる

- 折れない人
 - 自分は完璧でないことを十分に自覚しているので、ここまで出来たら合格というラインを持っている
 - 相手にも完璧は求めていない
- 折れる人
 - 何事にも完璧を追い求めてしまうがあまりに、ちょっとしたミスやトラブルにも大ダメージを受けて落ち込んでしまう
 - 失敗を恐れて、慎重になりすぎて、なかなか前に進まず途中で投げ出してしまうこともしばしば

自分の価値は自分で決める or 誰かといつも比較してがっかりする

- 折れない人
 - 基準はいつも自分なので、自分がどうありたいか？自分はどこに向い、今どこにいるのか？昨日の自分と比べて、少しでも前進していれば自分を認める
 - もしも出来ていなければ、落ち込まず、素直に反省し今日よりも上手く出来る方法を試し挑戦を繰り返す
- 折れる人
 - 比較対象がいつも他人なので自分の欠点ばかりが目につき、落ち込んでしまう
 - また優位に立っている時も、あくまで対象は他人
 - 自分と他人を比べても持って生まれたものが違うから仕方がないのに、それに気づかず比較してしまう
 - 相手のすごい所を素直に認められない